



Title	IDUN ー北欧研究ー 17号 投稿規程／執筆者一覧
Author(s)	
Citation	IDUN ー北欧研究ー. 2007, 17, p. 325-326
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95580
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

投稿規程

(特別号の場合は規程を別途定める)

1. 投稿資格

本学デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻の専任教員、外国人招聘教員、名誉教授およびデンマーク語専攻もしくはスウェーデン語専攻の教員が主指導教員である本学院生（博士前期課程在学、博士後期課程については在学もしくは単位取得退学後3年以内）に限る。

2. 使用言語

本文は、日本語、デンマーク語、スウェーデン語、英語のいずれかを使用する。本文を日本語で書いた場合はデンマーク語、スウェーデン語あるいは英語のレジュメを、本文をデンマーク語あるいはスウェーデン語で書いた場合は英語もしくは日本語のレジュメを、本文を英語で書いた場合はデンマーク語、スウェーデン語もしくは日本語のレジュメを加えること。なお、欧文は必ずネイティブスピーカーのチェックを受けること。

3. 掲載内容

学術論文、翻訳（著作権は執筆者が責任をもってクリアしていること）、書評、報告。ただし、院生は学術論文もしくは研究ノートの投稿に限る。

4. 院生の論文の扱いについて

院生の論文、研究ノートについては、主・副指導教員を中心としたスタッフによる綿密かつ厳格な指導の後、デンマーク語・スウェーデン語研究室会議で掲載の可否が決定される。可否の結果は、次の3段階で示す。

〈そのまま掲載可〉、〈条件付き採用〉、〈不採用〉

掲載可否の結果は主指導教員から執筆者に通知する。

5. 原稿枚数

基本的に学術論文は、規定7の書式に応じた枚数で換算して10枚から30枚程度までとし、書評、報告は5枚から20枚程度までとする。

6. 原稿形態

完全原稿で（フロッピならびにプリントアウトしたものを）提出すること。

7. 原稿書式

Word 2000以降のMicrosoft Wordを用いて、以下の書式に従い執筆すること。

① ページ設定：横書き B5判 注は後注とする。

左余白 27 mm, 右余白 27 mm, 上余白 27 mm, 下余白 27 mm

a) 本文が日本語の場合：本文 36字×35行 / 1頁

文字 10.5ポイント

後注 10ポイント

欧文レジュメ 34字×36行 / 1頁

文字 11ポイント

b) 本文が欧文の場合：本文 34字×36行 / 1頁

文字 11ポイント

後注 10.5ポイント

日本語レジュメ 36字×35行 / 1頁

文字 10.5ポイント

欧文レジュメ 34字×36行 / 1頁

文字 11ポイント

② 執筆形式は本号と同じ。詳細は「IDUN 執筆形式の手引き」を別途配布する。

8. 発行部数

250部を発行する。抜き刷りは各執筆者へ50部が配布される。

執筆者一覧（ABC順）

Bergman, Lars（本学スウェーデン語外国人招聘教員）

古谷大輔（本学助教授）

堀井裕介（本学非常勤講師，金沢大学助教授）

Høilund, Bente（本学デンマーク語外国人招聘教員）

石黒暢（本学助教授）

牧野正憲（本学非常勤講師）

大辺理恵（本学大学院博士後期課程在学）

清水育男（本学教授）

新谷俊裕（本学教授）

菅原邦城（本学教授）

鈴木雅子（本学大学院博士後期課程単位取得退学，本学非常勤講師）

高橋美恵子（本学助教授）

竹本統夫（本学大学院博士後期課程在学）

田辺欧（本学助教授）